



* 2011 年 10 月 21 日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、
および関連資料等は、GE ウェブサイト内「インベスター・リレーション」
をご覧ください。

GE、2011 年度第 3 四半期の業績を発表

優先株償還による影響を除く当四半期の 1 株当たり営業利益(Operating EPS)は
11%増の 0.31 ドル、1 株当たり純利益(Net EPS)は 22%増の 0.22 ドル
産業分野事業の売上高は 19%増の 234 億ドル、同事業の受注高は 16%増
GE キャピタルの利益は 79%増の 15 億ドル

2011 年度第 3 四半期の 決算ハイライト

- 営業利益は 11%増の 34 億ドル
 - ✓ 1 株当たり営業利益(Operating EPS)は 0.24 ドル、優先株償還による影響を除くと 0.31 ドル
 - ✓ 継続事業からの 1 株当たり利益(EPS)は 21%減の 0.22 ドル（優先株償還による影響を含む）
 - ✓ 1 株当たり純利益(Net EPS)は 22%増の 0.22 ドル（非継続事業を含む）
- 業績の先行指標は引き続き堅調
 - ✓ 総売上高は 354 億ドル
 - ✓ 産業分野事業の内部成長率は 8%
 - ✓ 産業分野事業のグローバル全体での売上は 25%増加
 - ✓ 産業分野事業の受注残高は過去最高の 1,910 億ドル
- GE キャピタルの利益は 15 億ドル、税引き前利益は 16 億ドル
 - ✓ GE キャピタル・コーポレーション(GECC)、GE キャピタル・サービス(GECS)の Tier 1 普通資本比率はそれぞれ 11.0%、9.6%
- 2011 年度のフレームワーク（事業見通し）達成への自信は変わらず。2012 年度の 1 株当たり営業利益は 2 桁成長の見込

2011 年 10 月 21 日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GE は本日、2011 年第 3 四半期の業績を発表しました。当四半期の営業利益は前年同期比 11%増の 34 億ドル、1 株当たり営業利益に換算すると 0.31 ドルとなりました（優先株償還による影響を除く）。

当四半期、GE は、Berkshire Hathaway の保有する当社優先株償還に関する通知を行った後、2011 年 10 月 17 日付で 33 億ドル分を償還しました。これにより、当社の予想どおり 1 株当たり 0.08 ドル相当の一過性の影響が出る結果となりました。優先株償還の影響を含めた継続事業からの 1 株当たり利益(EPS)は 21%減の 0.22 ドルでした。1 株当たり純利益(Net EPS)は 22%増の 0.22 ドルとなりました。今後、Berkshire 社保有の優先株消却により、GE の 1 株当たり利益が年間ベースで 0.03 ドルずつ改善する見込みです。

GE のジェフ・イメルト会長兼 CEO は次のように述べています。「マクロ環境が激変するなか、6 四半期連続で営業利益の 2 桁成長を達成したことをうれしく思います。利益を改善し、インフラストラクチャー事業の受注高 2 桁成長という堅調な結果を出し、バランスの良い資本配分

計画を実行すると共に、健全な財務体質（バランスシート）を維持してきました。当四半期の受注残高は過去最高の1,910億ドルとなり、2011年通年の事業フレームワーク（見通し）達成には引き続き自信を持っています」。

GEは積極的に、成長基盤となる分野へ投資を行っています。当四半期の投資ハイライトとして、Converteam社（電力変換および自動化システム、高効率パワーエレクトロニクス、モーター、電動機などの大手メーカー）の買収完了が挙げられます。また、GEはロシアの医療および発電セクターの近代化を目指した合併会社2社の設立を発表しており、今後ともグローバル展開を強化していきます。

産業分野事業の受注高は前年同期比16%増となり、4四半期連続の2桁成長を達成しました。また、GEは当四半期、エネルギー事業全体で新規顧客からの受注が30億ドル超となったことを発表しています。一例として、1.4ギガワット相当の発電規模となるブラジルの電力プロジェクトにおけるガス・風力タービン供給契約（8億ドル）を受注しました。合計金額の40%はブラジル国営電力公社が最近実施した電力オークション落札によるものです。その他、産業分野事業の新規案件としてデルタ航空がCFM56-7BE型エンジン搭載の次世代機737-900ERを100機発注したと発表しています。

第3四半期のGE産業分野事業の売上は19%増の234億ドル、NBCユニバーサルの影響を除くと12%増の354億ドルとなりました。同事業の売上は米国内、米国外ともに2桁成長を遂げています。特に米国外ではブラジル、ロシア、中国、インド、カナダ、メキシコ、中東における堅調な2桁成長に支えられ25%の増収となっています。

「GEキャピタルは事業全般において実行力を発揮し、税引き後利益が前年同期比79%増の15億ドルとなりました。GEキャピタルの新規取扱高も、15%増の430億ドルまで拡大しました。同社の利益率は本年度累計で5.4%と依然堅調であり、信用サイクルの回復による恩恵も続いています。GEキャピタルは第3四半期も引き続き、資本比率および流動性を強化してきました。GEキャピタル・コーポレーション(GECC)およびGEキャピタル・サービス(GECS)のTier1普通資本比率はそれぞれ11.0%、9.6%に上昇し、ポートフォリオ全体での負債比率も引き下げました」。

全セグメントの利益は15%増の47億ドルとなりました。利益率は、主にエネルギー関連事業の風力タービンの価格下落により前年同期比減となりましたが、当社は第4四半期にかけて産業分野事業の利益率改善を見込んでいます。GE産業分野事業の営業活動による2011年第3四半期累計キャッシュフロー総額は65億ドルとなりました。現金および現金同等物の連結期末残高は910億ドルでした。当社は手持ちキャッシュを活用し、第3四半期に10億ドル規模の普通株買戻しを実施しました。これで2010年第3四半期に自社株買いを再開して以来、37億ドル相当を買戻したことになります。

「我々は今後共、しっかりと舵取りで世界経済の混乱を乗り切っていきます。研究開発およびグローバル展開に向けた投資が実を結んでいることは、堅実な内部成長が証明しています。流動性も健全です。GEキャピタルの競合優位性も向上し、安全性・信頼性が備わった会社となりました。また、バランス良い資本配分計画をもとに、株式数の減少、堅調な配当利回りの持続、および成長に向けた原資を確保していきます。2011年度事業フレームワーク（見通し）達成および2012年度の1株当たり営業利益2桁成長という目標達成に向け、良い位置についています」とイメルトは述べています。

2011年第3四半期の決算ハイライト

2011 年第 3 四半期の営業利益は、前年同期の 31 億ドルから 11%増の 34 億ドルとなりました。優先株償還による影響を除く 1 株当たり営業利益は前年同期の 0.28 ドルから 11%増の 0.31 ドルでした。一般会計基準(GAAP)ベースの (GE に帰属する) 継続事業からの利益は前年同期比 4%増の 32 億ドル、1 株当たりに換算すると前年同期比 21%減の 0.22 ドルとなりました。

非継続事業の実績を含めると、2011 年第 3 四半期の GE に帰属する純利益は前年同期の 21 億ドルから 57%増の 32 億ドルとなりました。1 株当たり純利益は 22%増加しました。

当四半期に利益を計上した項目が、一過性の費用により相殺されました。

2011 年第 3 四半期の売上高は、前年同期 (354 億ドル) と変わらず 354 億ドルでしたが、NBC ユニバーサルの影響を除くと 12%増となりました。産業分野事業の売上高は同 2%減の 232 億ドルでしたが、NBC ユニバーサルの影響を除くと 18%増となりました。GE キャピタル・サービス(GECS)の売上は前年同期比 1%増の 120 億ドルとなりました。

GE 産業分野事業の営業活動による 2011 年第 3 四半期累計キャッシュフロー総額は、前年同期の 101 億ドルから 35%減の 65 億ドルとなりました。

注：別紙の財務諸表には、当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

* * *

GE について

GE は、世界各国においてインフラストラクチャーおよび金融の分野で事業を展開し、世界が直面している困難な課題の解決に貢献しています。航空機、発電をはじめ、金融サービスやヘルスケア・ソリューション、石油・ガス、鉄道事業にいたるまで、幅広い商品とサービスを、世界 100 以上のお客さまに提供しており、約 30 万人の従業員を擁しています。詳細は、GE のホームページをご覧ください。GE は、日本においても 100 年以上にわたって事業展開しており、社員は約 5,000 人を数えます。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」「予想する」「つもりである」「計画する」「信じる」「捜し求める」「見込む」「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む、欧米における欧州公的債務問題およびそれに係る将来的な市場混乱、現在の経済・金融状況、当社が計画する GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECC の資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行 (デフォルト) になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、日本の消費者金融におけるグレースゾーン金利返還の当社見積もりに対する実際の請求状況、日本の天災地変による財務面への影響可能性、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する当社の能力に影響を及ぼし得る、事前注文契約から受注獲得につなげる能力、当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、当社の客先である主要産業 (航空会社、鉄道、エネルギー生産、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業) からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響 (金融関連法令の影響を含む)、買収・合併事業・売却など戦略的行為や、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来における GE の実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

本件に関するお問い合わせ

日本 GE コーポレート・コミュニケーション本部

TEL: 03-3588-9500